

Jazz Interview vol.69

★バルセロナ出身の人気女性トランペッター&ジャズ・シンガー★ アンドレア・モティス【Andrea Motis】



2017年に世界デビューアルバム『エモーショナル・ダンス』を発表し、“21世紀に現れた女性版チェット・ベイカー”と称されるなど、今や世界的な人気を誇るスペイン・バルセロナ出身の女性トランペッター&ジャズ・シンガー、アンドレア・モティス。

7歳からトランペットを吹き始め、名ベーシストでもあるジョアン・チャモロが指導するサン・アンドレウの市立音楽学校でジャズを学び、2012年に母国スペインで行なわれたジャズ祭でクインシー・ジョーンズの目に留まり、その才能と愛くるしいルックスでも注目を集めるようになった。

最新アルバム『ループホールズ』を発表したばかりのAndreaとのインタビューが実現！

【2022年5月取材・文：加瀬正之 取材協力：MUZAK】

♪ まずは、誕生日おめでとうございます！ 5月9日に27歳を迎えましたが、どんな気分ですか？

やる気が込み上がってくるわ！ 特に開花シーズンだし、ループホールズのツアーが始まるからね！ スペインでの初公演もうまく行っているからとても感極まっているわ！ でも正直、今年は私にとってあまり良い年だとは言えないわね。私と同じ気持ちの人が大勢いると思うの。コロナ禍でなんとなく気分が好調ではないけど、でもみんな同じ思いだと思うから自分だけじゃないってことと、またいつか元の生活に戻るって勇気づけたいわ！

♪ 最新アルバムの『ループホールズ』はあなたのトランペットとヴォーカルと共にサウンドも最高で、Andrea・モティスの新世界／新境地を感じました。このアルバムはあなたのキャリアにおいてどのような作品になりましたか？

ありがとう！ 気に入ってもらえて嬉しいわ！ 私にとってはいつも通りの演奏だったけど、クリストフ・マリンジャーとステファン・コンダートのような優秀なプロデューサーやミュージシャンに導いてもらえたわ！ 3人でアルバムの楽曲を考えただけで、私たちの熱意が私のトランペットを新境地へ導いてくれたの。みんなにライブで披露できるのを楽しみにしているわ。

♪ アルバム全曲好きですが、特に「ベイビーズ」「ループホールズ」「ヒート」が好きです。このアルバムのコンセプトについて聞かせて下さい。

今回のアルバムのコンセプトは複合的なもので、一つの明確なアイデアから生まれたわけではないの。いつもとは異なる新しい挑戦をすることを思いついたのは、私のパートナーと共にこのアルバムの共同プロデューサーでもあるクリストフ・マリンジャーを通じてステファン・コンデルトに出会ったことがきっかけから。SK インヴィテーションナルのプロジェクトでコラボした際に、ジャズとヒップホップの両方を生かした音楽への可能性を感じたわ。その後、エスぺランサ・スポルディ

ング、エリカ・バドウ、ロバート・グラスパー、カマシ・ワシントンのアーティストに興味を持ち始めて色々聴いていたわね。そこから今に至った感じかしら。

♪ レコーディングメンバーについて聞かせて下さい。

クリストフ・マリンジャーは私のパートナーで息子の父親なの。彼はこのアルバムではプロデューサーというより、私がモダンミュージックに興味を持つきっかけを作ってくれた人物よ。例えば、私に80年代の音楽の魅力を伝えてくれたの。少し前までは興味がなかったのに、今ではどんなジャンルでも聴くわ！

ステファン・コンデルトはクリストフの友人で、彼もクリストフと同じオーストリア人なのよ。ニューヨークに12年以上住んでいて、今はヒップ・ホップ・ラップに感心があって、SK インヴィテーションナルやザ・ラフ・バックという独自のプロジェクトを行なっているの。彼とは何度かコラボして、次第に彼の好みや魅力に引かれて行ったのよ。バルセロナで収録したバンドメンバーのBIGYUKIとグレゴリー・ハッチンソンも彼が声掛けしてくれたのよ。

BIGYUKIは大発見だったわ！ ステファンが最初に紹介してくれたんだけど、最初は彼のことを知らなくて、でも彼の経歴には驚いたわ！ どちらかというと彼はジャズ・ピアニストでもヒップ・ホップのキーボード奏者でもない唯一無二の存在だわね。彼に雇えばジャズでもポップス、ヒップ・ホップでもどんなものでも個性的な音楽に変えてくれるわ。バルセロナで収録した時に初めて会ったけど、人柄も素晴らしいわね！ 日本に来日する機会があったらまた彼に会えることを祈っているわ。

グレゴリー・ハッチンソンはモダン・ドラムのヒーローよ！ これ以上相応しい言葉はないわ！ 彼と演奏すると彼の魅力を肌で感じ取れるの。力強さ、唯一無二で素晴らしい演奏、それに可能性を秘めた人物で言葉なんていらないわ！ 彼は数多くの私が大好きなアルバムでドラマーとして演奏しているわ。

♪ 2017年発行の本誌「Vol.51」のインタビューにも登場してくれたジョアン・チャモロとはどのように出会ったのですか？

ジョアン・チャモロとは私が10歳の時に、バルセロナのサン・アンドレウの市立音楽学校で出会ったの。彼はその時ジャズのコンボを教えていて、今の私のトランペットのスタイルも彼に影響されたのよ。数年間彼の元で教わっていたら、彼が私に歌うよう説得してくれて、初めてのアルバム『ジョアン・チャモロ・プレゼンタ・アンドレア・モティス』と一緒にレコーディングしたの。ここから私の音楽家としての人生が始まったのよ。あれから彼とずっと一緒に演奏していて、アルバムもたくさん作ったわ。

♪ 日本での特別な思い出などありますか？

23歳の誕生日はブルーノート東京で演奏していて、その後で誕生日を祝ったのよ！私の親友（クインテットのメンバー）と私の家族がいたわ。一度クリスマスもブルーノート東京で祝ったわね。ステージ裏で食べたお寿司は絶品だったわ（笑）。あと、アーティストの名前にちなんだカクテルがあるのはいつ見ても面白いわ。

私たちの記憶に特に残っているのは最初に日本で公演した時よ。15日間滞在したわ。石塚孝夫さん（2022年4月4日に亡くなったオール・アート・プロモーション代表）と高田敬三さんと共に9ヶ所で演奏したわ。由緒正しいホテルや相撲レストランに行ったり、ラーメンを食べたり最高の体験だったわ。ある朝、ドラムのエステイヴ・ピが女の子を授かったことはバンドにとって予期せぬ出来事だったわね（笑）。

最後に来日した時はとても美しい温泉に入って、友人のお母さんの家でお寿司を食べたわ。あとは神社や折り紙屋さんにも行って最高だったわ。また新しい家族と一緒に来日できる日が待ち遠しいわ。私の幼い息子セルと夫のクリストフは一度も行ったことないからね！

♪ 子供の頃はどんな音楽を聴いていたのですか？

私が子供の頃いつも両親が車の中で音楽をかけていたわ。ブエナ・ビスタ・ソシアル・クラブのようなキューバ音楽やジョー・パス、ソニー・ロリンズ、チャールズ・ミンガスとロイ・ハーグロフのようなジャズ・アーティストをよく聴いていたわ。その他には、フランスの歌とか旅行先で手に入れたレアなアルバムも聴いたわね。それと、カインド・ミュージックやXesco Boixのようなカタラン・バンドも好きよ。シャキーラとかラジオで人気のポピュラー・ミュージックも聴いていたわ。

♪ 強い影響を受けたジャズのアルバムを3枚挙げて下さい。

1. チャールズ・ミンガスの『ミンガス、ミンガス、ミンガス、ミンガス、ミンガス』
2. デューク・エリントンの『デューク・エリントン・ビッグ・バンド・プレイング・ザ・ナットクラッカー』
3. アビシャイ・コーエン（トランペット・プレイヤー）の『イントロデュシング・トリヴェニ』

♪ 強い影響を受けたトランペッターを挙げて下さい。

私に大きな影響を及ぼした順に並べると、ポビー・ハケット、クリフォード・ブラウン、トム・ハレル。あと、アヴィシャイ・コーエンとフレディ・ハバードだわ。

♪ 強い影響を受けたヴォーカリストを挙げて下さい。

ビリー・ホリデイ、エラ・フィッツジェラルド、サラ・ヴォーン、ナンシー・ウィルソン。あと最近では、セシル・マクロリン・サルヴァントね！



写真提供：MUZAK © Clara Ruiz

♪ トランペットを演奏する上で最も大切なことは何ですか？

耳で音楽を聴くことだわ。そうすると情熱も湧き上がるし、好きなだけ自分の技術を磨くことに集中できるの！だから、自由に自分の思い描く音楽を演奏することができるのよ！最近ではトランペットのテクニックを「Flexus」という本で勉強していて、とても役に立っているわ。

♪ 音楽以外の趣味はありますか？

自分で化粧をしたり、自然で無添加な素材に関して学んだりしているわ！家庭菜園もバルコニーでやっていて、世界各国の食文化を堪能するのも大好きなの！最近では料理の腕を磨くことも楽しんでいるのよ。でも、一番大切な“趣味”はやっぱり家族を大事にすることね。

♪ 2022年に何か特別な計画はありますか？

あるわ、今ルーブホールズのという新しいプロジェクトのためにヨーロッパでツアーを行なっているの。今年始めたばかりだから、今後予定されている公演がとても楽しみだわ！

♪ 最後に「The Walker's」読者と日本のファンにメッセージをお願いします！

私のインタビューを読んでくれてありがとう！新作『ルーブホールズ』を大好きな日本で販売することができて嬉しいわ！いつかまた戻ってこれる時が待ち遠しい！あと『ルーブホールズ』をぜひ聴いて、その魅力に浸ってみてね！みんなありがとう！

【アンドレア・モティス オフィシャルウェブサイト】

<https://andreamotis.com>



ルーブホールズ
アンドレア・モティス

MUZAK : MZCF-1449
¥ 2,640 (税込)
2022.5.25 発売
【※ P11 で紹介！】

アンドレア・モティスの最新アルバム！